

海老名市地域福祉計画

計画期間 | 令和 2 年度～令和 6 年度

海老名市

はじめに

海老名市は、神奈川県ほぼ中央に位置し、人口13万人を有する都市です。鉄道や高速道路等の交通の利便性に加え、現在も開発が進んでいる海老名駅周辺地区をはじめとする都市的な部分と、田園地帯が広がる部分が共存する魅力あふれるまちです。

近年では、全国的に急速な少子高齢化の進行、家族の在り方の変化、生活困窮者の増加など、福祉に関する課題の多様化・複雑化が進んでいます。海老名市でも、地域での支え合いや暮らしの中での人とのつながりが弱まり、悩みや問題を抱えた個人や家庭が社会から孤立してしまうことが今後懸念されています。



こうした現状の対策として、国では世代や分野を超えたつながり、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく「地域共生社会」の実現を提唱しています。

このような社会状況の変化を踏まえ、このたび、令和2年度から令和6年度までの5か年にわたる計画として「海老名市地域福祉計画」を改定することといたしました。

今後は、この計画に基づき地域福祉を一層推進し、計画の基本理念である「地域でともにささえあい 認め合う みんなが笑顔になれるまち」の実現に向けて取組んでまいりますので、市民の皆様や関係団体の皆様には、一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、本計画の改定にあたりまして、アンケート調査やパブリックコメントを通じて貴重なご意見をお寄せいただきました多くの市民の皆様と、計画策定にご尽力いただきました海老名市地域福祉計画策定委員会の委員の皆様にお礼を申し上げます。

令和2年3月

海老名市長 内野 優

<目次>

第1章 地域福祉計画について

1	地域福祉計画の作成と背景について	2
(1)	社会の状況	2
(2)	「地域共生社会」の考え方	4
(3)	海老名市の状況	5
2	計画の目的	9
(1)	地域福祉計画	9
(2)	計画の位置づけ	10
3	計画の期間	11
4	作成の方法	12
(1)	会議体による計画内容の審議	12
(2)	アンケート調査による市民ニーズの把握	12
(3)	意見提出手続（パブリックコメント）の実施	12

第2章 地域福祉に関する 海老名市の現状

1	統計からみる海老名市の現状	14
(1)	人口及び世帯数の状況	14
(2)	少子高齢化の状況	15
(3)	障がい者の状況	19
(4)	生活保護受給の状況	20
2	アンケートからみる地域の現状	21
(1)	市民アンケートの結果	21
(2)	団体ヒアリングの結果	32
3	海老名市の地域福祉の課題	33
(1)	人づくりについて	33
(2)	地域づくりについて	33
(3)	しくみづくりについて	34

第3章 計画の基本的な考え方

1	目指すべき姿（基本理念）	36
2	圏域設定の考え方	36
3	海老名市6地区の現状	37
4	計画の基本目標	50

第4章 施策の展開

基本目標1 地域を支える人づくり	52
（1）地域福祉の担い手	52
（2）地域福祉の意識づくり	54
（3）福祉・介護人材の発掘・育成	56
基本目標2 安心して暮らしやすい地域づくり	58
（1）市民ネットワークの形成	58
（2）地域の拠点整備	60
（3）ボランティア活動等の推進	62
（4）暮らしやすい地域をつくるしくみ	64
（5）災害等における福祉的支援	66
基本目標3 包括的な支援のしくみづくり	68
（1）情報提供のしくみづくり	68
（2）相談支援のしくみづくり	70
（3）地域福祉に関する事業の健全育成	72
（4）心の健康を支えるしくみづくり	74
（5）協働社会への体制整備	76
（6）生活困窮者等の自立支援	78

第5章 計画の推進に向けて

1 計画の推進・評価の体制	82
（1）社会福祉協議会との協働	82
（2）計画推進にあたって	82
（3）計画の進捗管理・評価にあたって	83

資料編

（1）海老名市地域福祉計画策定委員会設置要綱	86
（2）海老名市地域福祉計画策定委員会 委員名簿	88
（3）計画の作成経過	89
（4）海老名市地域福祉計画 用語集	90